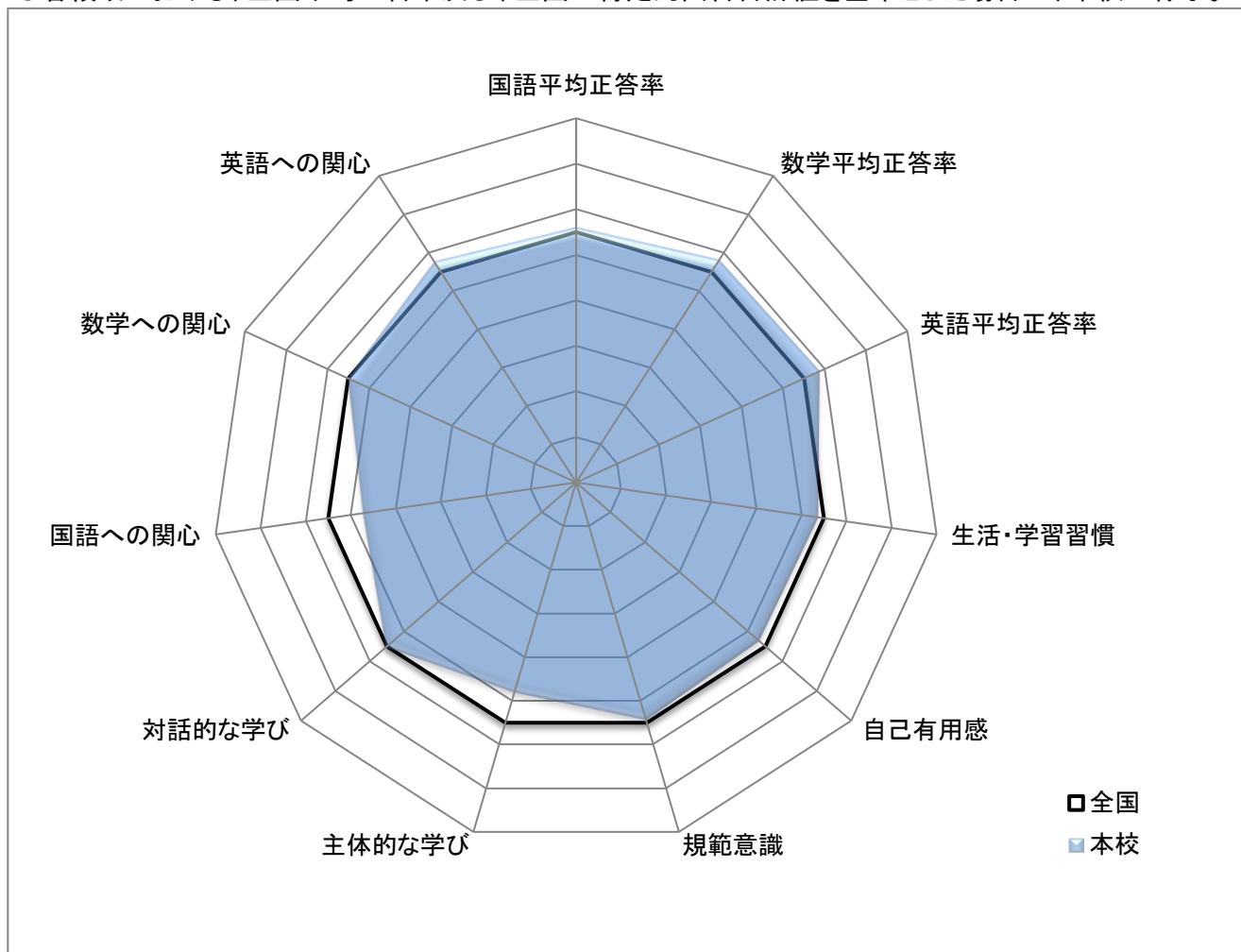


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

【国語】全国平均 +1.2ポイント
 <知識及び技能>が+8.0ポイントである。
 <思考力判断力表現力等>が-3.5ポイントである。

【数学】全国平均 +3.0ポイント
 <知識・技能>が+2.6ポイントである。
 <思考・判断・表現>が+4.3ポイントである。

【英語】全国平均 +3.4ポイント
 <知識・技能>が+2.8ポイントである。
 <思考・判断・表現>が+4.0ポイントである。

《授業改善のポイント》

【国語】
 基礎基本を徹底するとともに、読書や授業をとおして言葉がもつ価値を認識させ、自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。また、日常生活の思考力・判断力・表現力の向上につながるような授業実践を心掛ける。

【数学】
 基本となる知識や技能を身に付けさせるとともに、思考力・判断力・表現力を育てるために、教え合いやグループ活動を行う。また、ICTを活用する。習熟度に合わせた進度、教材を考え、単元内容の理解が深まるように指導する。

【英語】
 「聞く、話す、読む、書く」活動にバランスよく取り組ませながら、基礎的な知識を確実に身に付けるように指導を行う。発表を行う活動も多く取り入れ、自分の考えをまとめ、相手に伝わるようにするなどの工夫ができるように指導を行う。

《チャートの特徴》

各教科の平均正答率では3教科とも全国平均を上回った。各教科への関心では英語、数学は高いが、国語が全国平均を下回った。生徒質問紙の回答については、規範意識や対話的な学びについて値が比較的高い。それに対し自己有用感、生活・学習週間の項目の値がやや低い。主体的な学びについては全国平均を大きく下回っている。

《家庭・地域への働きかけ》

学校教育に対して理解を示し協力的な家庭が多い。三者面談や保護者会、学年だより、学校HPなどをとおして本校生徒の課題について周知し、改善を働きかけるとともに、学校・家庭・地域が協力して生徒の学力の向上、学校生活の安定を図っていく。